

中四国支部会員各位

平素よりお世話になっております。

この度、第17回病理夏の学校のプログラムと参加申し込み用紙をホームページにアップしました。

今年は、教科書にはのっていない！病理の diversity (多様性) を共通のテーマとして、病理医を目指す医学生や会員の先生方に参考にしていただけるような様々な視点からの講演会（特別講演 & テーマ別ミニ講演）を企画いたしました。2日間にわたって行うGPCでは、大学の枠を超えた混成チームでの取り組みとするなど、参加者が交流を深められるような企画もいろいろ準備しております。懇親会では有名連による阿波踊り実演もございます。学生さんや会員の先生方に多数ご参加いただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

参加申し込みは、中四国支部のホームページにアップしてあります申し込み用紙（Excel file）に、必要な事項をご記入の上、メールにて徳島大学疾患病理学分野 小川（e-mail: [ogawa.hirohisa@tokushima-u.ac.jp](mailto:ogawa.hirohisa@tokushima-u.ac.jp)）までお送りください。

それでは、夏の徳島にてお目にかかれましては、大変楽しみにしております。

6月5日

第17回病理夏の学校 世話人  
徳島大学大学院医歯薬学研究部 疾患病理学分野

常山 幸一 拝

日本病理学会中国四国支部主催  
第17回「病理学夏の学校」のご案内

テーマ：教科書にはのっていない！病理の diversity (多様性)

日時：2016年8月21日（日）～ 22日（月）

会場：徳島市医師会館

徳島県徳島市幸町3丁目61番地 TEL/088-622-0264

宿泊：ホテル 千秋閣（会場のすぐ前） <http://www.sensyukaku.jp>

徳島県徳島市幸町3丁目55番地 TEL/088-622-9121

参加費：学生 10,000円

教員 15,000円

参加者：学部学生、研修医、大学院生、大学教員、病院病理医、ほか

プログラム：

病理教育的CPC（好きな臓器別に大学混成のチームに分かれ、検査値検討、病理結果の検討、病理医としての剖検結果の活かし方、などについて話し合い、発表します。2日間にわけて行う予定です。7月下旬に症例の検査データ等を送付する予定です。）

特別講演：徳島大学 口腔分子病態学分野 石丸 直澄 先生

「口からはじめる病理学」

呉共済病院 病理診断科 佐々木 なおみ 先生

「チーム医療における病理医の役割

～プロフェッショナルとしての苦悩と愉しみ～」

テーマ別ミニ講演：

① 臨床医から病理への提言

徳島大学 胸部内分泌腫瘍外科 梶浦 耕一郎 先生

「需要と供給のギャップ～病理医不足は外科医の悩み～」

下関市立病院 呼吸器外科 井上 政昭 先生

「外科医から見た病理診断の重要性」

名古屋市立大学 地域医療教育学 赤津 裕康 先生

「さらに進む超高齢社会を支える未来病理総合診療医のあるべき姿」

② 病理と開業

四国病理アカデミー 森住 啓 先生

「病理医から内科開業医へ ～こんな人生歩んでいます～」

若槻クリニック 若槻 真吾 先生

「病理開業は可能か？」

詳細な time table は決定次第、第 17 回夏の学校 HP に掲載します。

<http://patholabmed.web.fc2.com/patholabmed/Welcome.html>

参加申込み：別紙申込書(6月初旬までに中四国病理学会 Hp に掲載し、各施設に送付)に必要事項を記載の上、下記 E-mail または FAX によりお申し込みください。各大学、病院毎に取りまとめて送付いただきますようお願いいたします。

E-mail: [ogawa.hirohisa@tokushima-u.ac.jp](mailto:ogawa.hirohisa@tokushima-u.ac.jp) Fax : 088-633-7067

申込み〆切：2016 年 7 月 22 日 (金) 必着

主 催：日本病理学会中国四国支部

協 力：徳島診断病理医会

事 務 局：徳島大学大学院医歯薬学研究部疾患病理学分野

〒770-8503 徳島市蔵本 3-18-15

事務局長 小川 博久

TEL (088) 633-7066 FAX (088) 633-7067

E-mail: [ogawa.hirohisa@tokushima-u.ac.jp](mailto:ogawa.hirohisa@tokushima-u.ac.jp)

世 話 人：徳島大学大学院医歯薬学研究部疾患病理学分野

常山 幸一

E-mail: [tsuneyama.koichi@tokushima-u.ac.jp](mailto:tsuneyama.koichi@tokushima-u.ac.jp)

## ホテル千秋閣

<http://www.sensyukaku.jp>

受付はホテル千秋閣ロビーにて行う予定で、受付完了された大学の方々から順次、会場（徳島市医師会館：ホテルの隣です。）に移動していただく予定です。

徳島に到着されましたら、まず、ホテルのほうへお越してください。

## ホテル千秋閣へのアクセス

<http://www.sensyukaku.jp/access/>

徳島駅から JR 線に沿って徒歩 10 分です。

### 1. 鉄道・バスでお越しの方

30 人乗り送迎バスで、徳島駅-ホテル間の送迎が可能ですが、徳島駅周辺は駐車禁止区間になっていますので、利用者は駅構内で待機していただき、バスが近くに到着したら、乗車していただく方式で運用予定です。

希望数を確認したいので、[参加申し込みバス欄に希望者は☑をお願いします。](#)

[（人数によってはご希望に添えない場合もあります。ご了承ください）](#)

### 2. 自家用車でお越しの方

徳島道徳島インターを降りて、11号バイパスを南進してください。

徳島 IC から 15-20 分です。

ホテル千秋閣タワー駐車場をお使いください。

但し、車高制限は 155 c m です。駐車台数に限りがあります (72 台まで) ので、なるべく乗り合わせてお越しいただくようお願いいたします。

## 大部屋利用について

ホテル千秋閣では最大 93 人宿泊できます。参加人数が多くなった場合大広間 2 室を客室として開放していただき、男子学生を中心に合宿のごとく 10-15 人で泊まっていただく予定です。その場合部屋に風呂がありませんので、最寄りの銭湯へ、バスで送迎させていただく予定です。男子学生で僕は大部屋でワイワイやりたいはという方がいらっしゃいましたら、参加申し込みの大部屋希望欄に☑をお願いします。(人数によっては大部屋を作らない場合もあり、ご希望に添えない場合もありますのでご了承ください。)

## 懇親会について

1 日目 19 時より立食形式にてホテル大広間で行います。  
有名連による阿波踊り、大学紹介などを企画中です。  
飲み物の準備の関係で成人・未成年の区別をあらかじめ行いたいと思います。  
参加申し込みの未成年欄に☑をお願いします。

## 朝食について

最上階レストラン聚楽にて和定食、または洋定食を選んでいただけます。朝食券を用意する予定で、準備のため、和食・洋食の希望を参加申し込み和食希望欄に記入をお願いします。記入がない場合は洋食とさせていただきます。(受付時に変更することも可能ですので、当日変更を希望される方は初日受付時に申告してください。)

## 教育型 CPC について



「CPC は Clinicopathological conference のことであり、教育的な示唆に富む剖検患者について、臨床、病理の順に提示して討議する会」ということは、皆さまよくご存知だと思います。

では、R-CPC はいかがでしょうか？

R-CPC とは、Reversed Clinicopathological conference の略で、検査値を用いて、推定される病態をもれなく挙げ、次の検査を提案するトレーニングです。（詳しく知りたい方はこちらの URL をご参照ください。）

[http://www.jaclap.org/wire/No\\_0022.html](http://www.jaclap.org/wire/No_0022.html)

[特別寄稿] ◆RCPC の足跡と今後の展望 国際臨床病理センター 河合 忠

さて、徳島県では、2015 年から、学生参加の病理教育型 CPC、2013 年から、信州大学医学部病態解析診断学教室の R-CPC を参考に、R-CPC と CPC を連動させる試みをしています。「剖検症例からとことん学び」「将来、どの道にすすんでも、病態に強くなれる」「剖検診断を行うときにも役立つ」、学習ですので、病理夏の学校 in 徳島でも、教育型 CPC の導入部に、取り入れてみました。

当日は、1 泊 2 日の短い時間になりますので、以下について、ご協力をお願いします。

1. 申し込み時、事前に興味のある臓器・分野を第 3 希望まで申告してください。  
(教員、病院病理医を除く) ※興味似たもの同志で、グループになるためです。  
教員・病院病理医の先生方はファシリテーター/審査員として参加していただく予定です。

[参加申込用紙の分野希望欄に希望する臓器・分野の番号\(次ページ\)を最大 3 つ](#)

まで記入してください(教員、病院病理医を除く)。⑮その他を選んだ方は自分の興味ある分野を備考欄に簡単に記入してください。

- ①. 脳、神経
  - ②. 耳鼻科領域、口腔領域（みみ、はな、のど、くび、口腔、唾液腺）
  - ③. 呼吸器
  - ④. 心・循環器
  - ⑤. 消化管（上部、下部）
  - ⑥. 肝・胆・膵
  - ⑦. 腎、泌尿器
  - ⑧. 男性生殖器
  - ⑨. 女性生殖器・乳腺
  - ⑩. 代謝・内分泌（甲状腺・副腎）
  - ⑪. 血液・リンパ・骨髄・脾
  - ⑫. 骨・軟部・筋・皮膚
  - ⑬. 感染症
  - ⑭. 全身病態
  - ⑮. その他（備考欄に興味ある分野を自由に記入してください。例：小児、遺伝子、、、etc）
2. 検査データは7月下旬に、チェックシートとともに郵送します。検査データだけをみて、推定される病態と、その変化を、考えてきてください。低学年の学生さんは、おそらく病態や検査値にはなじみが少ないと思います。そのときは同封のチェックシートを利用してみてください。参考図書や、各大学の仲間で、まずはトライしてみましよう。
3. 症例の病歴、臨床経過、マクロ・ミクロ画像は、当日配布し、チームごとに検討します。普段お使いの病理学の教科書やアトラスを持参していただければより効率的に学習できます。  
(当日はスマホ、padの使用はOKの予定です。Wifiの有無は確認中)

#### 【参考図書】

- ・ワンランク上の検査値の読み方・考え方 -ルーチン検査から病態変化を見抜く- 救急・集中治療 Vol. 23 No. 11-12, 2011, 総合医学社
- ・水・電解質と酸塩基平衡 改定第2版 南江堂 黒川清著